

平成30年度

第3回定期監査  
結果報告書

(平成31年1月執行分)

御殿場市監査委員

30御監第312号  
平成31年2月25日

御殿場市長 若林洋平様

御殿場市監査委員 鈴木 健  
御殿場市監査委員 勝間田 博文

### 定期監査の結果について(報告)

地方自治法第199条第4項の規定に基づき、平成30年度第3回定期監査を実施したので、その結果を同条第9項の規定により次のとおり報告します。

# 平成30年度第3回定期監査結果報告書

## 第1 監査の対象

企画部 秘書課、企画課、未来プロジェクト課、魅力発信課、情報政策課、演習場渉外課  
産業スポーツ部 農政課、農林整備課、商工振興課

## 第2 監査の期間

平成30年12月28日から平成31年1月29日まで

## 第3 監査の範囲

平成30年4月1日から11月30日までの財務に関する事務事業の執行状況

## 第4 監査の方法

提出された監査書類による説明聴取及び関係諸帳簿の照合と施設の管理状況の実査

## 第5 監査の結果

監査の対象となった事務事業の予算執行及び会計事務処理は適正に執行されており、施設等の管理状況についても概ね適正であった。

法令、条例、規則等に違反している事項、又は経済性、有効性の観点から改善を要する事項など、特に指摘すべき事項は見受けられなかった。また、指導事項については、該当課に対して改善を求めた。

所管毎の監査の概要は次のとおりである。

(注記)

- 1 文中に用いる金額は原則として千円単位で表示し、単位未満は基本的には四捨五入した。したがって、合計額または差額が一致しない場合もある。
- 2 表中の金額の単位はその都度表示し、千円単位の場合は単位未満を四捨五入してある。したがって、小計・合計欄が一致しない場合もある。
- 3 文中の比率(%)は、原則として小数点以下第2位を四捨五入し、構成比率の合計が100になるよう一部調整してある。  
また、執行率は99.95%～99.99%の場合99.9%としてある。
- 4 各表中の符号等の用法は、次のとおりである。  
「 0 . 0 」 … 該当数値はあるが、表示単位未満のもの  
「 - 」 … 該当数値がないもの、または数値を表示することが適当でないもの  
算出不能なもの、または増減率等の無意味なもの  
「 △ 」 … マイナスのもの
- 5 歳出予算執行状況は、人件費を除いた数値である。

## 企画部

### 1 監査の対象

秘書課、企画課、未来プロジェクト課、魅力発信課、情報政策課、演習場渉外課

### 2 監査の結果

監査した結果、財務に関する事務の執行は適正かつ効率的に執行されているものと認められた。指摘事項は見受けられなかった。また、指導事項については、その該当課に記載した。

## 秘書課

当課は、課長以下 4人で、秘書スタッフにより組織されている。

#### (1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・秘書事務（市長・副市長の秘書に関する事務等）
- ・栄典・表彰事務（叙位・叙勲、静岡県知事表彰等申請事業、市表彰関係事業等）

#### (2) 予算の執行状況

歳出予算執行状況は、次のとおりである。

歳出予算執行状況（目別）

（単位：円・％）

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支 出 率
一 般 管 理 費	8,303,000	4,884,376	3,418,624	58.8

※人件費を除く

事業別の執行状況は、秘書事務経費（予算現額 3,708 千円、支出済額 1,971 千円、支出率 53.2％）、協議会等負担金（予算現額 1,839 千円、支出済額 1,832 千円、支出率 99.6％）が主なもので、計画通り執行されている。

予算残額の主なものは、秘書事務経費の委託料 1,301 千円、栄典・表彰事務経費の報償費 436 千円である。

#### (3) 前渡資金出納状況

前渡資金の出納状況については、例月現金出納検査（一般・特別会計）の帳票検査に合わせて関係帳簿等の確認を実施しており、適正に処理されていた。

前渡資金の出納状況は、次のとおりである。

(単位:円)

区 分	前 渡 資 金	精 算 額	返 納 額	未 精 算 額
市 長 交 際 費	680,000	534,738	0	145,262
有 料 道 路 通 行 料 ( E T C )	100,000	61,030	0	38,970
市長と語るミニ懇談会報償金	12,000	6,000	0	6,000

#### (4)意見・要望事項

- ア 市長交際費をホームページ上で公表しているが、他市では住民監査請求の事例があるため、今後  
も適正な支出を望む。現金の取扱いにも引き続き注意されたい。
- イ 2020 東京オリンピック・パラリンピックの開催を控え、オリンピック関連イベント事業や新東名などの  
交通インフラ整備に付随する国への要望活動など、市長と副市長の公務が多くなっているとのこと  
であった。可能であれば部長等に割り振ると共に、随員職員についても他課に協力を求めるなど、  
職員の健康管理にも留意され、業務管理の適正化に努められたい。

## 企画課

当課は、課長以下 5 人で、企画調整スタッフにより組織されている。

### (1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・市の将来構想や主要施策、重点事業計画を協議する庁議及び調整会議に係る事務
- ・第四次御殿場市総合計画等策定事業
- ・広域連携に関する事務（富士山ネットワーク会議、2市1町行政懇談会ほか）
- ・みんなの声を活かす意見公募手続（パブリックコメント）に係る事務

### (2) 予算の執行状況

歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

#### ア 歳入予算執行状況（款別）

（単位：円・％）

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額	収 入 率	
					対予算	対調定
分担金及び負担金	600,000	0	0	0	-	-
県 支 出 金	414,000	216,615	72,615	144,000	17.5	33.5
財 産 収 入	400,000	0	0	0	-	-

収入済額は、県支出金（国土利用計画法に基づく権限移譲事務交付金）73 千円である。

#### イ 歳出予算執行状況（目別）

（単位：円・％）

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支 出 率
企 画 費	2,242,000	1,818,904	423,096	81.1

※人件費を除く

事業別の執行状況は、広域連携事業（予算現額 800 千円、支出済額 800 千円、支出率 100%）、協議会等負担金（予算現額 855 千円、支出済額 836 千円、支出率 97.8%）が主なもので、計画通り執行されている。

予算残額の主なものは、一般諸経費の使用料及び賃借料—その他 174 千円である。

(3)意見・要望事項

- ア 第四次御殿場市総合計画の進捗状況の評価を行い、審議会審議委員から書面ではあるが色々ご意見を頂いたとのことである。2月に開催予定の審議会においても慎重な審議をお願いしたい。
- イ 昨年度に機構改革が行われたが、企画部各課からは支障なく業務が行われているとの話を伺った。引き続き、限られた人員の中で適正な事務が行われるよう留意されたい。
- ウ 3か年実施計画策定にあたり、今年度から財政課と連携して予算要望額を調査し、3か年実施計画掲載事業を全体的予算の一部と位置づけ縮減を図ったとのことである。今後も財政部局と連携を図りながら、行政運営に取り組まされたい。



## 未来プロジェクト課

当課は、課長以下 4 人で、プロジェクト推進スタッフにより組織されている。

### (1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・地域公共交通に関する事務(御殿場線活用推進協議会、バス交通活性化対策事業ほか)
- ・エコガーデンシティ推進事業
- ・未来プロジェクト推進事業

### (2) 予算の執行状況

歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

#### ア 歳入予算執行状況(款別)

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額	収 入 率	
					対予算	対調定
繰 入 金	7,400,000	0	0	0	-	-

#### イ 歳出予算執行状況(目別)

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支 出 率
企 画 費	16,867,000	1,112,390	15,754,610	6.6

※人件費を除く

事業別の執行状況は、地域公共交通対策事業(予算現額 15,080 千円、支出済額 80 千円、支出率 0.5%)、未来プロジェクト推進事業(予算現額 1,021 千円、支出済額 266 千円、支出率 26.1%)が主なもので、計画通り執行されている。

予算残額の主なものは、地域公共交通対策事業の負担金補助及び交付金一補助金 1,500 千円、未来プロジェクト推進事業の委託料 600 千円である。

### (4) 意見・要望事項

- ア 機構改革により昨年度から創設された課であり、エコガーデンシティ推進事業、未来プロジェクト事業など業務が多岐にわたる。産学官金の連携や市民参画により、地域経済活性化や市の魅力・ブランド力の向上に努められたい。

イ 公共用地跡地利用、駅周辺公共施設の検討については、関係各課と連携しながら対応していただきたい。

## 魅力発信課

当課は、課長以下 8 人(うち臨時職員 1 人)で、広報・情報発信スタッフにより組織されている。

### (1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・広報活動事業（広報ごてんば発行事業、同報無線広報事業、市政カレンダー発行事業ほか）
- ・ホームページ事業（市ホームページ保守・管理委託ほか）
- ・情報発信事業（コミュニティFM活用事業、魅力発信事業、移住定住促進事業）
- ・ふるさと納税推進事業
- ・報道機関対応

### (2) 予算の執行状況

歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

#### ア 歳入予算執行状況（款別）

（単位：円・％）

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額	収 入 率	
					対予算	対調定
寄 附 金	120,000,000	64,031,976	63,269,976	762,000	52.7	98.8
諸 収 入	5,380,000	4,228,421	4,173,421	55,000	77.6	98.7

収入済額の主なものは、総務費寄附金(ふるさと納税) 63,270 千円、広報紙等広告掲載料 3,710 千円である。

#### イ 歳出予算執行状況（目別）

（単位：円・％）

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支 出 率
広 報 広 聴 費	109,792,000	45,617,918	64,174,082	41.5

※人件費を除く

事業別の執行状況は、広報活動事業(予算現額 21,319 千円、支出済額 10,732 千円、支出率 50.3%)、情報発信事業(予算現額 12,674 千円、支出済額 5,844 千円、支出率 46.1%)、ふるさと納税推進事業(予算現額 69,746 千円、支出済額 26,195 千円、支出率 37.6%)が主なもので、計画通り執行されている。

予算残額の主なものは、広報活動事業の需用費－印刷製本費 10,066 千円、ふるさと納税推進事業の報償費 28,349 千円、役務費－手数料 14,340 千円である。

(3) 郵券等の管理について

郵券及び郵便受払簿について書類審査と現品確認を実施した。郵便受払簿に一部記入漏れがあったため適正な管理を指導した。

(4) 意見・要望事項

- ア 情報発信は成果がすぐには目に見えず費用対効果が計りかねるが、市民には生活の情報を、市外の人には御殿場の魅力を発信することは重要である。移住定住促進にもつながることから、多様なチャンネル、ツールを使い、効率的な情報発信に努められたい。
- イ コミュニティFMについては、今年度のアンケート結果によると認知度が64%とのことである。災害時には地域に密着した情報の提供源となるため、身近な情報番組として運営会社とともに認知度の向上に努められたい。
- ウ ふるさと納税返礼品メニュー開発に力を入れ、昨年度比約2倍(200品目程度)にし、利用拡大と地元産品のPRに効果があった。他市町との競争になりつつあり、制度的に疑問のあるところではあるが、税の流出を防ぐため引き続き取り組まれたい。

## 情報政策課

当課は、課長以下 7 人(うち臨時職員 1 人)で、情報政策・統計スタッフにより組織されている。

### (1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・各種統計調査に係る事務
- ・情報化機器の運用管理・最適化に関する事務
- ・番号制度に関すること

### (2) 予算の執行状況

歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

#### ア 歳入予算執行状況 (款別)

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額	収 入 率	
					対予算	対調定
分担金及び負担金	7,971,000	3,624,280	3,624,280	0	45.5	100.0
国庫支出金	6,310,000	6,310,000	0	0	-	-
県支出金	6,792,000	6,177,000	6,177,000	0	90.9	100.0
諸 収 入	1,000	0	0	0	-	-

収入済額の主なものは、広域行政組合会計負担金(内部事務統合システムに係る負担金) 3,624 千円、各種統計調査委託金(住宅・土地統計調査ほか) 6,156 千円である。

#### イ 歳出予算執行状況 (目別)

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支 出 率
情 報 政 策 費	206,481,000	115,349,204	91,131,796	55.9
統 計 調 査 総 務 費	927,000	909,640	17,360	98.1

※人件費を除く

事業別の執行状況は、情報化機器維持管理費(予算現額 139,132 千円、支出済額 79,273 千円、支出率 57.0%)、情報化推進事業(予算現額 65,369 千円、支出済額 35,334 千円、支出率 54.1%)、情報政策費—一般諸経費(予算現額 1,890 千円、支出済額 652 千円、支出率 34.5%)が主なもので、計画通り執行されている。

予算残額の主なものは、情報化機器維持管理費の役務費—通信運搬費 2,260 千円、委託料 9,083

千円、使用料及び賃借料－その他 46,529 千円、情報化推進事業の使用料及び賃借料－その他 26,969 千円である。

(3) 郵券等の管理について

郵券及び郵便受払簿について書類審査と現品確認を実施した。郵便受払簿に一部記入漏れがあったため適正な管理を指導した。

(4) 意見・要望事項

ア 機構改革により昨年度から情報政策・統計業務を「情報政策課」として再編し、他の業務は企画課、総務課、人事課などへ移管された。

ICT を生かした庁内業務改善については、企画課と連携して行っているとのことであった。AI や RPA(ロボットプロセスオートメーション)等を導入し、事務のミス未然化、省力化に取り組まれたい。また、機器導入の際には、コスト意識を持ち検討されたい。

イ セキュリティ対策に対しては、システムの整備とセキュリティポリシーなど職員の対応についても引き続き細心の注意を払い、外部からのウィルス侵入や内部からの個人情報漏洩などないように万全の対応をしていただきたい。

ウ プライバシー意識が高まる中で、統計調査員の方も苦勞されていると思うが、社会に生かされるデータであるので引き続きご協力をお願いしたい。

## 演習場渉外課

当課は、課長以下 3人で、渉外スタッフにより組織されている。

### (1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・演習場使用協定に関する事務
- ・演習場に関する総合対策連絡調整及び障害に関する事務（林野特産物補償研究会、水利関係ほか）
- ・東富士演習場地域協議会に関する事務及び会計
- ・東富士演習場土地契約問題協議会に関する事務及び会計
- ・防衛省関係会計実地検査に関する事務

### (2) 予算の執行状況

歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

#### ア 歳入予算執行状況（款別）

（単位：円・％）

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収入済額	収入未済額	収 入 率	
					対予算	対調定
国庫支出金	1,700,000	1,700,000	1,700,000	0	100.0	100.0

収入済額は、防衛施設区域取得等事務地方公共団体委託費 1,700 千円である。

#### イ 歳出予算執行状況（目別）

（単位：円・％）

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支 出 率
渉 外 事 務 費	2,368,000	1,257,281	1,110,719	53.1

※人件費を除く

事業別の執行状況は、渉外推進事務費（予算現額 1,536 千円、支出済額 691 千円、支出率 45.0％）、車両管理費（予算現額 542 千円、支出済額 276 千円、支出率 51.0％）が主なもので、計画通り執行されている。

予算残額の主なものは、渉外推進事務費の需用費-印刷製本費 318 千円、使用料及び賃借料-その他 317 千円である。

(3)意見・要望事項

- ア 昨年度から演習場に係る総合対策・渉外機能を強化するため課内室から演習場渉外課として独立した。国との調整、マスコミの対応、国際情勢から目を離さずに、住民の安全・安心を第一に引き続き適切な渉外事務の実施に努められたい。



## 産業スポーツ部

### 1 監査の対象

農政課、農林整備課、商工振興課

### 2 監査の結果

監査した結果、財務に関する事務の執行は適正かつ効率的に執行されているものと認められた。指摘事項は見受けられなかった。また、指導事項についてはその該当課に記載した。

### 農政課

当課は、課長以下 13 人(うち相談員 1人、臨時職員 3人)で、農政スタッフ、農業振興スタッフにより組織されている。

#### (1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・御殿場市農業委員会事業
- ・農業政策に関する事業 (グリーンツーリズム事業、地域農政推進事業(担い手組織育成事業、農業振興地域整備事業ほか)、たくみの郷指定管理施設運営事業ほか)
- ・農業振興に関する事業 (水田農業構造改革事業、ごてんばコシヒカリブランド化事業、農業振興対策事業、農作物被害防止対策事業、経営所得安定化対策推進事業ほか)
- ・畜産振興に関する事業 (家畜防疫事業、畜産振興推進事業ほか)

#### (2) 予算の執行状況

歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

##### ア 歳入予算執行状況 (款別)

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額	収 入 率	
					対 予 算	対 調 定
使用料及び手数料	6,000	1,200	1,800	0	30.0	150.0
県 支 出 金	12,823,000	5,429,471	5,371,471	58,000	41.9	98.9
繰 入 金	24,878,000	23,378,000	23,378,000	0	94.0	100.0
諸 収 入	4,208,000	1,165,419	1,165,419	0	27.7	100.0

収入済額の主なものは、経営所得安定対策推進事業費補助金 4,000 千円、玉穂財産区特別会計繰入金(玉穂地区農業振興事業財産区繰入金ほか) 3,029 千円、印野財産区特別会計繰入金(たくみの郷指

定管理施設運営事業財産区繰入金ほか) 10,610 千円、高根財産区特別会計繰入金(高根地区農業振興事業財産区繰入金ほか) 6,595 千円である。

イ 歳出予算執行状況 (目別)

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支 出 率
農 業 委 員 会 費	3,865,000	1,527,495	2,337,505	39.5
農 業 総 務 費	21,013,000	13,346,402	7,666,598	63.5
農 業 振 興 費	34,796,000	27,525,738	7,270,262	79.1
畜 産 振 興 費	2,668,000	2,606,303	61,697	97.7

※人件費を除く

事業別の執行状況は、地域農政推進事業(予算現額 7,530 千円、支出済額 3,052 千円、支出率 40.5%)、たくみの郷指定管理施設運営事業(予算現額 10,000 千円、支出済額 8,000 千円、支出率 80.0%)、農業振興対策事業(予算現額 17,528 千円、支出済額 15,528 千円、支出率 88.6%)、経営所得安定対策推進事業(予算現額 6,990 千円、支出済額 5,049 千円、支出率 72.2%)が主なもので、計画通り執行されている。

予算残額の主なものは、地域農政推進事業の負担金補助及び交付金-補助金 3,365 千円、たくみの郷指定管理施設運営事業の委託料 2,000 千円、農業振興対策事業の負担金補助及び交付金-補助金 2,000 千円である。

(3) 郵券等の管理について

郵券及び郵便受払簿について書類審査と現品確認を実施した結果、郵便受払簿が整備されていなかったため、適正な管理を指導した。

(4) 意見・要望事項

ア 農地法等に基づく事務が県から権限移譲され、多少の権限移譲事務交付金が県から委託金として補助されるものの問題点は、その責任の重さである。農業委員会の果たす役割は大きい。ソーラーパネルを農地に設置するなど、時代と共に土地の利用方法も変わってきている。違法転用や法律を知らずに使っている場合も含めて指導監督を徹底されたい。

イ 近年の農業に係る諸課題に対し、抜本的な解決策が見出せていないのが現状である。関係機関と協調し、今後の地域農政のあり方、行政の果たすべき役割について検討されたい。

ウ グリーンツーリズムについては、本来は都市と農村の交流を通じ、農業の活性化を推進する事業である。観光部局や民間企業と連携を図り、取り組まれない。

- エ 鳥獣による農作物被害の予防対策については、防護柵設置以外に有効な手段がない状況である。鳥獣被害防止対策協議会員の高齢化、人員不足などがあるが、営農意欲がそがれることのないように対応されたい。
- オ 補助金・交付金については、その内容及び効果を十分に検討されるとともに、補助団体の経理事務について適正に運用されるように引き続き指導されたい。

## 農林整備課

当課は、課長以下 10 人(うち臨時職員 2 人)で、基盤整備スタッフ、森林スタッフにより組織されている。

### (1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・ 農業用排水路等の整備及び土地改良施設の維持管理に関する事業（市単独農業施設等整備事業、土地改良区交付事業、農業農村整備事業ほか）
- ・ 東富士演習場関連公共用施設整備事業(防衛 9 条)
- ・ ほ場整備事業に関する事務（県営ほ場整備事業:高根西部塚原地区、高根西部・一色地区、御殿場深沢地区、中清水地区）
- ・ 林業振興及び林道整備に関する事業(森林組合運営費補助金、鳥獣被害防止等対策事業交付金ほか)
- ・ 東富士演習場内緑地帯設置委託事業（国庫委託事業）
- ・ 東富士演習場内治山治水対策事業（国庫委託事業）
- ・ 森林公園指定管理施設運営事業
- ・ 農地、農業用施設、林道等災害復旧事業

### (2) 予算の執行状況

歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

#### ア 歳入予算執行状況（款別）

（単位:円・%）

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額	収 入 率	
					対 予 算	対 調 定
使用料及び手数料	30,000	0	0	0	-	-
国 庫 支 出 金	184,225,000	33,496,960	16,536,960	16,960,000	9.0	49.4
県 支 出 金	20,586,000	5,568,475	4,607,475	961,000	22.4	82.7
寄 付 金	3,860,000	0	0	0	-	-
繰 入 金	86,304,000	15,387,000	15,387,000	0	17.8	100.0
諸 収 入	0	5,000	5,000	0	-	100.0
市 債	45,300,000	0	0	0	-	-

収入済額の主なものは、東富士演習場内治山治水対策等事業委託金(防災調節池等保全対策・法面修正) 16,537 千円、農業農村多面的機能支払事業交付金 4,527 千円、御殿場財産区特別会計繰入金(御殿場深沢土地改良区運営費補助金に係る繰入金ほか) 4,935 千円高根財産区特別会計繰入金(高根地区農業基盤整備事業研究会補助金に係る繰入金ほか) 9,402 千円である。

## イ 歳出予算執行状況（目別）

（単位：円・％）

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支 出 率
農 地 費	146,012,000	31,236,750	114,775,250	21.4
東富士周辺用水整備事業費	23,000,000	8,743,711	14,256,289	38.0
ほ 場 整 備 事 業 費	50,894,000	20,504,553	30,389,447	40.3
林 業 振 興 費	39,278,000	13,948,168	25,329,832	35.5
緑 地 帯 設 置 事 業 費	42,676,000	3,179,888	39,496,112	7.5
森 林 公 園 管 理 費	36,219,000	17,323,050	18,895,950	47.8
場内治山治水対策事業費	122,269,000	47,164,728	75,104,272	38.6
農業施設災害復旧費	37,000	0	37,000	-
林道等災害復旧費	29,000	0	29,000	-

※人件費を除く

事業別の執行状況は、市単独農業施設等整備事業（予算現額 67,539 千円、支出済額 19,510 千円、支出率 28.9%）、土地改良区交付事業（予算現額 52,498 千円、未執行）、東富士演習場関連公共用施設整備事業（防衛9条）（予算現額 20,368 千円、支出済額 7,409 千円、支出率 36.4%）、高根西部一色地区県営ほ場整備事業（予算現額 12,459 千円、支出済額 2,610 千円、支出率 20.9%）、御殿場深沢地区県営ほ場整備事業（予算現額 17,210 千円、支出済額 5,835 千円、支出率 33.9%）、林業振興事業（予算現額 29,339 千円、支出済額 10,242 千円、支出率 34.9%）、（緑地帯設置事業費）国庫委託事業（予算現額 42,676 千円、支出済額 3,180 千円、支出率 7.5%）、森林公園指定管理施設運営事業（予算現額 22,620 千円、支出済額 16,907 千円、支出率 74.7%）、森林公園維持管理費（予算現額 13,599 千円、支出済額 416 千円、支出率 3.1%）、（場内治山治水対策事業費）国庫委託事業（予算現額 121,791 千円、支出済額 40,813 千円、支出率 33.5%）が主なもので、計画通り執行されている。

予算残額の主なものは、市単独農業施設等整備事業の需用費—修繕料 23,399 千円、委託料 20,208 千円、土地改良区交付事業の負担金補助及び交付金—交付金 52,498 千円、東富士演習場関連公共用施設整備事業（防衛9条）の工事請負費 12,610 千円、（緑地帯設置事業費）国庫委託事業の委託料 39,107 千円、（場内治山治水対策事業費）国庫委託事業の委託料 20,868 千円、工事請負費 57,711 千円である。

## (3) 郵券等の管理について

郵券及び郵便受払簿について書類審査と現品確認を実施した。郵便受払簿に一部記入漏れがあったため適正な管理を指導した。

## (4) 意見・要望事項

ア 鳥獣被害防止対策事業については、捕獲等を実施しているものの、被害がなくなるのが現状である。引き続き県、近隣市及び猟友会等と緊密に連携して対応されたい。

- イ 農業用排水路等の整備について、地元からの要望件数が多いために応えきれないことを課題としている。富士裾野東部土地改良区への施設移管や農業後継者の問題も関連することから優先順位など十分に検討されたい。
- ウ 補助金・交付金については、その内容及び効果を十分に検討されるとともに、補助団体の経理事務について適正に運用されるように引き続き指導されたい。

## 商工振興課

当課は、課長以下 6 人(うち相談員 1 人)で、商工労政スタッフにより組織されている。

### (1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・労政に関する事業（合同企業ガイダンスの開催、勤労者住宅建設の支援(利子補給)、駿東勤労者福祉サービスセンター(ベネフィ駿東)の支援、駿東地域職業訓練センター指定管理事業ほか)
- ・商工業振興に関する事業（商工振興事業(融資資金利子補給)、商店街活性化事業、経済活力創出事業、環境美化・経済対策助成事業、地域産業立地促進事業、市営駅南駐車場指定管理事業ほか)

### (2) 予算の執行状況

歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

#### ア 歳入予算執行状況（款別）

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収入未済額	収 入 率	
					対 予 算	対 調 定
使用料及び手数料	184,000	183,819	183,819	0	99.9	100.0
県 支 出 金	269,329,000	22,207,249	22,207,249	0	8.2	100.0
繰 入 金	1,180,000	470,000	470,000	0	39.8	100.0
諸 収 入	147,487,000	4,850,000	4,850,000	0	3.3	100.0

収入済額の主なものは、静岡県地域産業立地促進事業補助金 22,095 千円、市営駅南駐車場指定管理者納付金 4,850 千円である。

#### イ 歳出予算執行状況（目別）

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支 出 率
労 働 諸 費	154,947,000	148,003,442	6,943,558	95.5
商 工 総 務 費	107,552,000	106,449,199	1,102,801	99.0
商 工 振 興 費	585,413,000	107,841,131	477,571,869	18.4

※人件費を除く

事業別の執行状況は、勤労者福祉事業(予算現額 132,447 千円、支出済額 128,983 千円、支出率 97.4%)、職業訓練促進事業(予算現額 17,075 千円、支出済額 17,075 千円、支出率 99.9%)、環境美化・経済対策助成事業(予算現額 98,000 千円、支出済額 98,000 千円、支出率 100.0%)、商工振興事業(予算現額 28,000 千円、支出済額 21,841 千円、支出率 78.0%)、地域産業立地促進事業(予

算現額 533,993 千円、支出済額 71,495 千円、支出率 13.4%)が主なもので、計画通り執行されている。

予算残額の主なものは、地域産業立地促進事業の負担金補助及び交付金-補助金 462,498 千円、設備投資促進事業の負担金補助及び交付金-補助金 7,449 千円である。

### (3)意見・要望事項

- ア 昨年度の機構改革により、商工振興課、観光交流課、スポーツ交流課の 3 課に再編されたが、行事等の日程の都合上、休日出勤の多い状態が続いている。職員に過度の負担とならないよう、引き続き業務管理の適正化に努められるとともに、時差出勤など負担の軽減となる勤務形態について検討されたい。
- イ 産業振興施策や各種イベント等について、行政が主導的立場とならざるを得ない面もあるが、可能な部分については、自立を促す意味からも、民間団体等が主導的に実施できるような方策を検討されたい。
- ウ 補助金・交付金については、その内容及び効果を十分に検討されるとともに、補助団体の経理事務について適正に運用されるように引き続き指導されたい。
- エ 県の「ふじのくに少子化突破戦略応援事業」を活用した U ターン政策の強化や引きこもり等を対象とした要就労支援者相談事業に新たに取り組んでいる。人手不足がひいては企業活動の縮小や他市への転出にならないように、積極的に取り組まされたい。